

シンガポールの学校と日本の学校の相違点や共通点について

千葉翔太

【はじめに】

1 テーマの決定について

学校というのは僕達にとって身近なものであり、その国や地域の文化、特色が色濃く反映されていると僕は思います。そのため、今回の研修でシンガポールと日本の学校の相違点や共通点を調べることにより、この2つの国のことを深く理解できると思い、今回の研修テーマを「シンガポールの学校と日本の学校の相違点や共通点について」にしました。

2 事前調査について

まず、シンガポールに行く前にシンガポールの学校について文献調査を行いました。事前に調べたことは、次の4つです。

- ・シンガポールの学校の時間割について
- ・給食があるのか
- ・シンガポールには制服があるのか
- ・シンガポールの学校行事について

(1) シンガポールの学校の時間割について

公立学校では授業と授業の間のちょっとした休み時間がなく、昼休みもない。30分ほどのリセスタイムというある。そして、FCEという食事や食費に対しての賢明な選択ができるように、調理実習や食の安全、消費者の権利を学ぶ授業がある。また、多くの学校では7:40~8:10に登校し、15:00~16:00頃に下校し、小学部だけ7校時がある。各学期の間や学年末にはまとまった休暇もある。

(2) 給食があるのか

シンガポールには給食がなく、お弁当の持参または学校の食堂で食事をするのが一般的で食堂には、麺、ご飯、インド料理、マレー料理、中華料理など様々な料理が提供されている。

(3) シンガポールには制服があるのか

シンガポールでは制服が義務付けられ、学校によってデザインが違う。また、値段は20\$前後で制服だけでなく髪型などの校則も厳しい。

(4) シンガポールの学校行事について

ティーチャーズデーやチルドレンズデーがあり、ティーチャーズデー(9月最初の金曜日)は先生への感謝を表す日で、先生へギ

フトやカードなどを送ったりする。子どもたちの帰宅後にパーティーを開いたりもする。チルドレンズデー(10月最初の金曜日)は、子どもたちへの感謝と励ましのイベントで、先生たちからギフトを送ったり、子どもたちが楽しめるイベントが催されたりする。

シンガポールでは事前に調べたことが合っているかも調べていきたいです。

【シンガポールでの調査】

1 調査方法

僕は、バディが入っている学校の写真を撮ったり、バディに話を聞くことで調査を進めました。

2 事前に調べた事と、実際

(1) シンガポールの学校の時間割について

シンガポールでは事前に調べたとおりにリセスタイムという休み時間があり、二時間目のあとに40分間ありました。このリセスタイムでは外でサッカーなどをしたり、食堂で昼食を食べたりします。

そして、登校時間も調べたものとだいたい同じで7:45~8:10ぐらいでした。下校時間は14:40または15:00でした。更に、僕のバディはその後に語学センターに行って第三外国語を学んでいました。

209

NESE SCHOOL (INDEPENDENT), SINGAPORE

	Mo	Tu	We	Th	Fr
08:00-08:20	Chapel	CT	PD WED	CT	Geog
08:20-08:40		Music	CT	LA/Arts	EnMath
08:40-09:00	LA/Arts	Math	PC	2.07-2.13	PE 2B
09:00-09:20		2.07-2.13	2.07-2.13	2.07-2.13	PE 2B
09:20-09:40	Recess	PE 2B	LSci Pract	Recess	LA/Arts
09:40-10:00					
10:00-10:20	Recess	Recess	Recess	Recess	Recess
10:20-10:40	2.07-2.13	2.07-2.13	2.07-2.13	2.07-2.13	2.07-2.13
10:40-11:00	JA MT	Recess	Recess	2.07-2.13	JA MT
11:00-11:20					
11:20-11:40	EnMath	TuP	EnMath	EnMath	Recess
11:40-12:00					
12:00-12:20	LSci	LA/Arts	LA/Arts	LA/Arts	PSSci Pract
12:20-12:40					
12:40-13:00	Recess	Recess	Recess	Recess	Recess
13:00-13:20	Math	JA MT	LA/Arts	Art	Art
13:20-13:40					
13:40-14:00	EnMath	JA MT	EnMath	EnMath	White Space
14:00-14:20	Geog	PSSci	PSSci	PSSci	
14:20-14:40					
14:40-15:00					
15:00-15:20	Chapel	CT	PD WED	CT	Art
15:20-15:40					
15:40-16:00	LSci	EnMath	CT	LA/Arts	Art
16:00-16:20					
16:20-16:40	JA MT	Recess	Recess	Recess	PE 2B
16:40-17:00					
17:00-17:20	PSSci Pract	Recess	Recess	Recess	Recess
17:20-17:40					
17:40-18:00	EnMath	TuP	EnMath	EnMath	LA/Arts
18:00-18:20					
18:20-18:40	Geog	Geog	Geog	Geog	White Space
18:40-19:00	LA/Arts	LA/Arts	LA/Arts	LA/Arts	
19:00-19:20					
19:20-19:40					
19:40-20:00					

(2) 給食があるのか

シンガポールに給食があるのか調べたところ、給食はなく基本的にお金を持ってきて食堂で昼食を買い、食べていました。食堂には、イタリア料理、日本料理、インド料理、マレー料理など様々なものがあり、僕はイタリア料理の店でフライドチキンとパスタのセットを頼みました。値段は5\$程度でとても安かったです。



(3) シンガポールには制服があるのか

シンガポールの制服について調べたところ、調べた通りシンガポールには制服があり、僕が体験



入学した学校では、上はTシャツのようなものを着ていて、服には学校のマークのようなものが書いてありました。色は赤や青、黄色やオレンジなど様々な色がありました。下は黒色の短パンのようなものを履いていることが多かったです。

(4) シンガポールの学校行事について

学校行事には、調べた通りにティーチャーズデーやチルドレンズデーがあり、僕達が行ったときはティーチャーズデーが近かったので、僕のバディは先生へのプレゼントとして万年筆を買っていました。また、他にも運動会のようなものもあるそうです。

3 事前調査以外に気付いた事

(1) 日本の学校と似ている点

- ・図書館や体育館がある
- ・1クラスあたりの人数は35人程度
- ・授業では、先生が説明する場面や4人1グループとなって対話 する場面があった。対話する場面では、それぞれがテーマについて意見を出していた。

(2) 日本の学校と異なる点

- ・数学では $\sin\theta$ など日本の高校数学で学ぶ三角比を中学校2年生で学んでいた。
- ・授業では生徒がパソコンや携帯電話を用いて4択クイズに参加 し、リアルタイムでクラスの他の生徒の回答状況がわかること から、興味関心が高まっているようだった。また、日本語の学 習ではゲームのように学ぶアプリを使用していた。
- ・携帯電話を学校に持参してよい。持参した携帯電話は個人の ロッカーに保管する。
- ・すべての生徒が部活動に参加している。
- ・敷地がとても広く、グラウンドが芝生だった。
- ・シアタールームのような部屋があった。

(3) その他

- ・今回訪問したのは男子校
- ・宿題が多い

【まとめ】

シンガポールの学校と日本の学校は違っているところがたくさんあったが、それとともに似ているところも多く、日本の学校のことを思い出させてくれました。3日間しか体験入学できませんでしたが、シンガポー

ルの学校と日本の学校どちらの良いところも体験することができました。

【最後に】

実際に行ってみることにより分かったことや感じることもできたことがたくさんあり、日本にいたらできなかった体験だったので毎日が新鮮で楽しかったです。シンガポールに行く前は、英語が苦手なのにシンガポールでやっていけるかどうか不安で仕方なかったけれど、行ってみたらシンガポール人の優しさに触れることができ、不安な気持ちもなくなりました。また、シンガポールでは今まで親にやってもらっていたことを自分でやらないといけず、初めてのことで戸惑うこともありましたが、自己管理ができるようになり、成長したと思っています。

図1



図2



図3



図4



図5



図6

